

## 朝日の森に歌声が響く

### 朝日小学校でアウトリーチコンサート

毎年、レ・コード館で開催されている新冠町&昭和音楽大学パートナーシップコンサート。2月22日、このコンサートに出演する昭和音楽大学講師や学生の皆さんが音楽を通して、小学生と交流を図ることを目的に、朝日小学校、新冠小学校でアウトリーチコンサートが開催されました。

朝日小学校では、4月から一緒に勉強する美宇・太陽・東川・若園の各小学校から児童たちも来校し、朝日小学校の児童たちと一緒にコンサートに参加しました。



コンサートでは昭和音楽大学の講師である鈴木とも恵さんと藤原海考さんの声楽とサクソフオーン4重奏の演奏が行なわれ、子供たちも聞き入っていました。また、鈴木さんらの指導の下、子供たちも「さんぽ」や「千の風になつて」を歌い、朝日の森に歌声が響き渡っていました。

## 日本財団の助成で福祉車両を購入

### 新冠ほくと園

新冠ほくと園（前山佳弘理事長）では、日本財団（笹川陽平会長）の福祉車両配備事業の助成金を活用して福祉車両を購入しました。

新冠ほくと園では、旧町長公宅の「サンクスホーム」を拠点に、利用者の地域生活移行訓練を行なうサテライト事業を行なっていますが、新



しい福祉車両は利用者の送迎などに使われます。

前山理事長も「今回の助成は地域の福祉振興にとつて大変助かります。」と語ってくれました。

# 題

あれこれ

## お母さんたちと一緒に布草履作り

### 大狩部小学校で地域参加型授業実施

2月27日、大狩部小学校（中村等校長・児童1名）で5回目の地域参加型授業が行なわれ、唯一の児童である谷口徹君と大狩部婦人会の皆さん25名が参加し、布草履作りに挑戦しました。

大狩部小学校は今年、児童が谷口君1人となつたため、地域の方々と一緒に学ぶことで、色んなことを吸収してもらおうと味噌作りなど、これまで様々な地域参加型授業を行なってきました。

布草履作りは、わらロープに古布やタオルなどを巻きつけながら編みこんでいくというもので、講師である高橋好子先生の指導の下、参加した皆さんも悪戦苦闘しながら、オリジナルの布草履を作っていました。



一方、谷口君は「難しい」と言いながらも、飲み込みが早く、お母さんに作り方を教える一幕もありました。また、布草履作りを通して、リサイクルについて学ぶことができた授業となりました。

## 小鳥の村へようこそ

### 明和小学校で小鳥の村研究発表会

2月13日、明和小学校（小笠原進校長・児童9名）で「小鳥の村」研究発表会が開催され、PTA、教育関係者約100名の方が見守る中、子供たちが1年間、小鳥の村について調べてきたことを発表しました。

明和小学校はその自然環境を生かし、昭和41年に「小鳥の村」を開村以来、餌台を設置したりしながら、野鳥の観察や研究を続けてきた学校で道内外から高く評価されてきました。

今回の発表会もその一環として毎年行なわれてきたもので、1・2年生は「らっかせいけんきゅうプロジェクト」、4・5・



6年生は「小鳥のレストラン」というテーマで発表してくれました。

子供たちも最初は緊張していましたが、野鳥がどんなエサを食べるかなど細かく観察してきたことを、分かりやすく説明してくれ、素晴らしい研究発表会となりました。

## ま ち の 話

### いつまでもお元気で

#### 小竹町長から長寿祝金贈呈

特別養護老人ホーム恵寿荘で、2月25日に満百歳を迎えた奥山誠一さんに小竹町長から長寿祝金が贈呈されました。

奥山さんは明治41年、胆振郡虻田村生まれ。満州で終戦を迎え、昭和21年に帰国の後、昭和22年に新冠町太陽地区に入植し、農業を営まれてきました。



激動の時代を生きてこられた奥山さんですが、長生きの秘訣は「食べ物で好き嫌いはしないこと」とおっしゃっていました。

### ありがとう節婦小学校 節婦小学校閉校式



2月10日、節婦小学校で閉校式が行なわれ、節婦小学校の卒業生や地域の方など248名が参加しました。節婦小学校の始まりは大正15年。多いときで350人を越える子供たちが通っていた節婦小学校も81年間の役目を終えようとしています。閉校式も、節婦小学校への感謝の気持ちで満ち溢れていました。

### 寒中パークゴルフ大会開催



2月17日、新冠町憩いの広場パークゴルフ場で第3回寒中パークゴルフ大会（新冠パークゴルフ同好会主催）が開催され、パークゴルフ愛好者48名が参加し、自慢の腕前を披露しました。年間を通してできるパークゴルフ場は道内でもほとんどないため、大会には近隣町からも多くの方が参加し、大会を盛り上げました。